

相撲部員「先輩の姿、励み」

栃飛龍(三島出身) 幕下全勝優勝



栃飛龍の幕下優勝を受け、稽古に熱が入る飛龍高相撲部員。24日午後、沼津市の同校

母校飛龍高に朗報

24日の大相撲九州場所で幕下の全勝優勝を果たし、3年ぶりの十両返り咲きを確実にした栃飛龍(30)は、本名本間幸也さん、三島出身。母校飛龍高(沼津市)の相撲部員らは先輩の活躍に刺激を受け、さらなる躍進を願うとともに稽古への熱意を一層高めた。

●関連記事13面へ
練習の途中で部員に

栃飛龍の優勝を伝えた栗原大介監督(41)は、かつての教え子の朗報に「何度も上位に進んではね返されてきたが、腐らずによく頑張ってきた」とひと安心。栃飛龍と同じく突き押し相撲を得意とする2年の阿部剛大さん(17)は「練習で胸を借りた時、(腕の)回転を速く突くようにアドバイスを受けた。(栃飛龍は)自分の目標」と目を輝かせた。1年の土屋和也さん(16)も「先輩の姿は励みになる。幕内を目指してほしい」と話した。

三島市相撲連盟名誉会長の鈴木忠友さん(73)は「けが多い中、よく克服してくれた」と感無量の様子。「努力してきたからこそ今日がある。十両でも歯を食いしばって頑張れ」とエールを送った。

(運動部・木村祐太)